



Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2023年9月30日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域自治課内
☎055-934-4717
FAX055-931-2606
<http://www.nice-numazu.org/>



沼津市・カラマズー市姉妹都市提携 60周年記念式典・交流会



- ・日時 2023年8月5日(土)9時～
- ・会場 プラサヴェルデ

◎沼津市 頼重市長挨拶

沼津市とカラマズー市においては、沼津市制40周年の1963年7月1日、両市長の調印のもと姉妹都市提携がなされました。以来今日まで、交流の輪は60年間絶えることなく続いております。また本年は、沼津市制100周年の節目の年とも重なり、このように盛大にお祝いできることを大変嬉しく思います。



市民訪問団や留学生による相互交流では、文化や生活様式の違いを肌で感じ、戸惑い、驚きながらも互いに理解を深め、そして同時に日本のこと、沼津のことについても見直す機会となっています。このように異なる世界を経験し、言葉や文化の違いを乗り越え、培われた信頼関係は非常に強いものであると確信しております。

このような実りある交流が継続できたことは、言うまでもなく、今日お集まりの沼津国際交流協会並びにカラマズー・沼津姉妹都市協会をはじめ、姉妹都市交流に携われたすべての皆様のご尽力の賜物と、改めて感謝と敬意を表する次第でございます。



め、姉妹都市交流に携われたすべての皆様のご尽力の賜物と、改めて感謝と敬意を表する次第でございます。

◎沼津市議会 高橋議長挨拶

沼津市とカラマズー市の姉妹都市提携は、昭和38年、私たち沼津市議会も携わる中で締結されました。以来、市民訪問団、教師、留学生などによる相互交流が続けられ、60年という交流の歴史が築き上げられましたことは、非常に感慨深く大変素晴らしいものと感じております。このように長きに渡り、実りある交流が継続できたのも、両市民、両協会の皆様をはじめ提携当初から現在に至るまで、交流のかけ橋となり

献身的に活躍された先輩各位のご尽力によるものであり、深く敬意を表する次第でございます。

式典終了後には、両市の中学生による、互いのまちの紹介も準備されていると聞いております。今日お集まりの皆様には60周年の思い出を振り返っていただくとともに、次の世代に続く新たな交流の輪を広げていただきたいと存じます。



◎沼津国際交流協会 田中会長挨拶

ビリー会長ご無沙汰しております。2021年コロナ禍による感染が世界中を巻き込み従来通りの交流ができないまま3年が過ぎようとしています。そのような中、沼津市とカラマズー市が1963年7月に姉妹都市提携して以来今年で60周年を迎えました。

今年の60周年記念事業としまして、両市の中学生がお互いの街を紹介するオンラインで結ぶ事業を企画しました。ビリー会長には大変ご協力をいただき、この記念事業を本日開催出来ることを感謝申し上げます。

また、参加してくれた両市の生徒たち、本当にありがとうございます。のびやかにそして自信を持って発表してください。私達は諸君らを誇りに思います。そしてこの企画に賛同していただきました校長会をはじめとする多くの方々にお礼申し上げます。最後にTake It Easy!



◎カラマズー市
デイビッド・アンダーソン市長挨拶
Address by Mr. David Anderson,
Mayor of Kalamazoo

As mayor of the great city of Kalamazoo, Michigan, it is an honor to join you in celebrating the 100th anniversary of our Sister City, Numazu City, and the 60th anniversary of our sister city partnership.

I am so proud to know that we have established such a strong link over the years, ever since 1963 when our relationship as sister cities began to form through the efforts of leaders in our cities to help strengthen American and Japanese relations.

Since then, representatives from both cities have traveled to each city and explored the bonds and partnerships that tie us together. Thanks to these efforts, our friendships have deepened, and we have learned a great deal from each other in the process.



It is a partnership that we here in Kalamazoo fully appreciate. In 1998, our city celebrated the 35th anniversary of our relationship with Numazu City by planting a red leaf Japanese maple tree in Bronson Park, which is located in our downtown. We also later added a plaque attached to a large rock below the tree that acknowledged the enduring connection between our two cities.

It could be said that the rock is a symbol that shows our relationship remains strong and solid – like a rock – and many enduring friendships have been made over the years.

Numazu City is larger in population than Kalamazoo, yet both our cities have much in common: Your passion for education and the arts, for example, resembles our city as one that embraces the arts through our many festivals and concerts, as well as supporting education beyond high school through the Kalamazoo Promise.

◎カラマズー沼津姉妹都市協会
ビリークレイトン会長挨拶

Good morning, Honorable Shuichi Yorishige, Honorable David Anderson, and our friends in Numazu.

I would like to first thank Taka Susuki, and the rest of the NICE committee for all of their hard work in creating this event. Here in Kalamazoo we were concerned if our committees would survive after the COVID pandemic and we are so thrilled to know that it has. I am honored to be a part of today's event and I want to officially invite the NICE delegation in restarting our cultural exchange programs and to visit us in person next summer.

Well I am sure you are tired of hearing old people talk so let me move out of the way and make room for the future of our sister city relationship, our Numazu and Kalamazoo Middle School students. Thank you.





8月5日(土)午前9時よりプラサヴェルデにて、ミシガン州カラマズー市姉妹都市提携60周年の記念式典・交流会が行われました。沼津市とカラマズー市とは60年もの間、いろいろな形で市民交流を行ってきましたが、今回は沼津市の市制100周年に寄せて、いつもより盛大に行われました。



お互いの会場をオンラインでつなぎ、同時通訳を聞くことができるレシーバーを準備して、式典が始まりました。日本は朝、アメリカは夜の時間帯での交流です。来賓のあいさつの後、両市中学生によるプレゼンが行われました。



沼津からは、多数の応募校の中から選ばれた第一中学校、第五中学校、市立高等部からの各3~4人の生徒が、手作りのスライドを使って、沼津市の文化や魅力を紹介しました。

カラマズーの中学生14人からは、自己紹介や、



好きな食べ物、地域の公園や図書館などを紹介のプレゼンがありました。



質疑応答など、フレンドリーな雰囲気では話が進み、有意義な時間になりました。



最後にお互いの中学生お勧めの駄菓子の交換がありました。当日に間に合うように、あらかじめ届けられたプレゼントです。どちらの生徒もとても嬉しそうでした。



今回のイベントは準備もとても大変でした。当日はもちろんのこと、事前打ち合わせ、沼津市の夏祭りでは周知のためのブースを出すなど、苦勞の連続でしたが、その努力は報われました。それぞれの都市で祝福の気持ちを共有し、絆を再確認することができたと思います。両市の交流はこれからもさらに発展し、お互い貢献していけることを期待しています。

交流会終了後、素晴らしい発表をしてくれた沼津市立第一中学校、第五中学校、市立沼津高等学校中等部の生徒10名に話を聞いたので紹介します。



最初に第一中学校の3名に大変だったことを聞くと英語の発音だそうです。学校の先生に協力してもらい練習したようです。発表の動画を作るのにトータルで10時間位かかったそうです。今回、沼津のことを調べる過程で、沼津に思ったより多くの水族館があり驚いたそうです。今回の企画で、今まで海外の人の話を聞くチャン

スがなかったなので、日本とは違う文化を知ることができ、良かったと話していました。



次に第五中学校の3名に話を聞きました。彼女らは各々でスライドを作る作業をしたそうです。やはり一番苦勞したのは英語の発音だそうです。今回の企画で、初めてカラマズー市が姉妹都市だと知ったという生徒もいました。沼津のことを調べていて、いろいろなお祭りがたくさんあることを発見したそうです。



最後に市立高中等部の4名に話を聞きました。彼等も各自、家で準備したそうです。沼津の自然について発表した生徒は駿河湾の深さを改めて知り驚いたそうです。また、アニメでは沼津の風景がたくさん出てくるのですが、細かいところまでそっくりで感動したと話していました。

3校の中学生の皆さん、時間をかけて準備して素晴らしい発表をしていただき、ありがとうございました。また生徒たちを指導して下さいました先生方にも感謝申し上げます。

今回の交流をきっかけにカラマズー市との友好がより深くなったことと思います。



沼津夏まつりでのPR活動

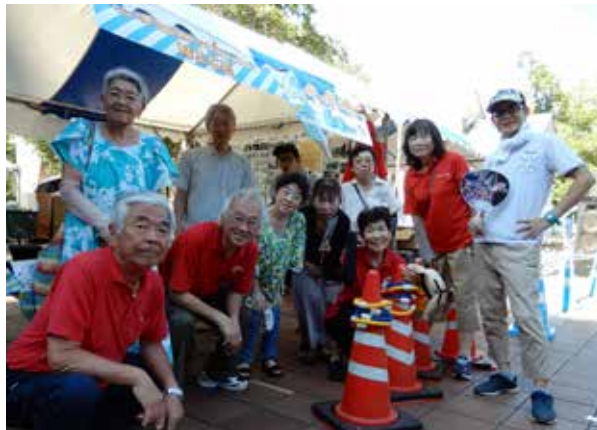
7月29日（土）の沼津夏まつりに、沼津市カラマズー市姉妹都市提携60周年記念事業のPRブースを出しました。



当日、中央公園は多くの人で賑わっていて、協会のブースにも子どもからお年寄りまで、大勢の方が訪れてくれました。



輪投げゲーム大人気♪



炎天下の中、スタッフのみなさまお手伝いいただきありがとうございました。

60周年記念事業
おつかれさまでした！

